

5段階の警戒レベル

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ※1

≪警戒レベル4までに必ず避難!≫

4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難 ※2	高齢者等避難
2	気象状況 悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・注意報 (気象庁)
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです
 (注) 避難指示は、現行の避難勧告のタイミングで発令する

〔令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ最終とりまとめ(概要)〕

地図1～6(P7～18)で自宅に色が塗られていた方は、災害の危険があるので原則として自宅の外に避難が必要です

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
 ※浸水の危険があっても、
 ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
 ②浸水する深さよりも高いところにいる

- ❗ 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要がありません。
- ❗ 避難に時間がかかる方とその支援をする方は「警戒レベル3」その他の方は「警戒レベル4」で避難を開始してください。
- ❗ 豪雨時の屋外避難は危険です。車での移動は控えましょう。

避難する際は、近所の方にも声を掛け、互いに助け合いましょう!

高根沢町の防災情報を収集しましょう!

高根沢町では、いつ発生するかわからない災害などに備え、迅速に情報を伝達するためインターネットや電子メールなどを使って皆様のパソコンや携帯電話に必要な情報を提供いたします。

高根沢町HPで調べる

<https://www.town.takanezawa.tochigi.jp/>



二次元コード



トップページの緊急情報から「防災情報」をクリック

緊急情報
●普段から防災情報を確認しておきましょう。

電話で調べる

電話応答サービス

防災行政無線の内容を電話で確認できます。

0120-
ぼうさい きゅうきゅうみみ
43-9933

放送内容が聞きとりにくかった場合は通話料無料のテレホンサービスをご利用下さい。

メール登録方法

- ①パソコン
<https://service.sugumail.com/takanezawa/member/>
- ②携帯電話
<https://service.sugumail.com/takanezawa/>
- ③二次元コード

①②③より登録の手続きを行なうことができます。パソコンと携帯電話で登録用ホームページが違います。なお、携帯電話のメールアドレスもパソコンから登録することができます。

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、災害の発生時点「0時間(ゼロ・アワー)」から時間をさかのぼり、一人ひとりがとるべき防災行動のタイミングを整理する行動計画表です。地域の水害リスクや防災気象情報の入手方法を把握し、それぞれの家族構成や生活環境にあったマイ・タイムラインを作成しましょう(このページでは、台風による河川の氾濫を想定しています)。

わが家のマイ・タイムライン 高根沢町 地区 作成年月日 年 月 日

準備までのおおよその時間	行政から発信される情報 黒:気象・水害情報 青:河川管理者 緑:市区町村	「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで	わが家の備え 右の例を参考に書いてみましょう	《例》〇〇家の備え
5～3日前	○台風予報 台風に関する気象情報(警戒レベル1相当)	台風が発生		○テレビの天気予報を注意 ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○避難する時に持って行くものを確認する
2日前	大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2相当) ○台風に関する今後の見通し	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる		○一週間分の薬を病院に受け取りに行く ○買い物は雨や風が強くなる前に済ませる ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族と連絡を取りあう
1日前	◇大雨警報・洪水警報(上流域での大雨特別警報)	雨が集まって、川の水がだんだん増える		○住んでいるところと上流の雨量を確認 ○携帯電話、モバイルバッテリー等の充電 ○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認
半日前	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達 ○要配慮者施設に洪水予報(氾濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ◇暴風警報	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる		○避難しやすい服装に着替える ○携帯メール等で高齢者等避難の受信 ○浸水洪水想定区域内等に自宅がある場合は、避難を始める
5時間前	避難判断水位到達(警戒レベル3相当) ○洪水予報発表(氾濫警戒情報) ○高齢者等避難を発令	川の水位が上がり、いつ氾濫してもおかしくない状態		○携帯メール等で避難指示を受信 ○安全なところへ速やかに避難(戸締りとブレーカーを確認) ○避難所への移動が難しい場合には自宅内で安全を確保
3時間前	氾濫危険水位到達(警戒レベル4相当) ○洪水予報発表(氾濫危険情報) ○緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報) ○避難指示を発令	川の水位が上がり、いつ氾濫してもおかしくない状態		
0時間(ゼロ・アワー)	氾濫が発生(警戒レベル5相当) ○氾濫危険情報発表 ○緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	川の水位が氾濫	避難完了	○緊急安全確保 ○命を守るための最善の行動をとりましょう。

※警戒レベルや防災気象情報は、必ずしもこのおりの順番で発表されるとは限らず、あくまでも目安です。
 ※警戒レベル5の時は既に災害が発生している状況です。この時まで避難が完了していない場合は、迷わず命を守る最善の行動をとりましょう。

マイ・タイムライン使用時の心得

災害は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではありません。また、想定したとおりに進行するとは限りません。マイ・タイムラインでは、とるべき行動の「いつに」は明確になりますが、注意すべき点もあります。

あくまでも行動の目安として認識する

台風の進み方や雨の降り方、水位の上がり方はその都度異なります。

警報や避難情報等こまめに収集・確認

気象警報、洪水予報等は状況に応じて臨機応変に発表・発令されます。

情報をもとに、臨機応変に防災行動を

氾濫の進行は早まることもありませんが、水防活動により遅らせることもできます。

雨風が強まる前に必要な行動を終わらせる
水位等の状況を把握しつつ時間に応じて避難行動を開始する
身の安全を確保